

民間活用事業者選定評価委員会（アートセンター部会）会議録

日 時	令和6年8月30日（金） 14時00分～15時40分	場 所	市民文化局会議室
出 席 者	委 員 岩崎委員、垣内委員、本杉委員（委員五十音順、オンライン会議にて出席）		
事 務 局	企画課長、企画課担当係長、企画課職員 市民文化振興室長、市民文化振興室担当課長、市民文化振興室課長補佐、市民文化振興室職員		
傍 聴 者	0人		
議 題	川崎市アートセンターに関する令和5年度指定管理の年度評価について（公開）		
企画課	オンライン会議を利用して会議を開催することを説明 委員の紹介、委員3名中3名出席により会議の成立を確認 事務局の紹介 配布資料の確認 市民文化局民間活用事業者選定評価委員会の概要を説明 委員及び御家族が指定管理者と利害関係がないことを確認 互選により部会長は垣内委員・副部会長は岩崎委員に決定		
部会長	会議の公開・非公開、会議録の作成方法、会議録の確認者の3点について協議 「川崎市アートセンターに関する令和5年度指定管理の年度評価」については、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例第3条に基づき、公開とすることを決定 会議録については、「要約方式」により作成することを決定 会議録については、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則第5条第2項の規定により、委員全員で確認することを決定 会議録に委員名が記載されること、文書開示請求等があった場合には、委員名は原則開示されることを確認		
企画課	年度評価シートの評価段階について説明。		
文化振興室	資料1「指定管理者制度活用事業 評価シート（案）」に基づき説明		
部会長	評価シートの「1. 基本事項」と「2. 事業実績」に対して、質問、指摘事項等を聞いてから「3. 評価」に入っていきたいと思うが、その前に1件確認したい。 以前から議論・課題となっているが、「映像編集室」は利用0回が続いている。自主事業で使うこともないようだが、今後どうしていく想定か。		
文化振興室	今後の利用について、条例改正も視野に入れ有効な活用について検討している。		

民間活用事業者選定評価委員会（アートセンター部会）会議録

本杉委員	指定管理者ではなく、市の方で決める内容と思うが、機能上難しい理由等があるか。
文化振興室	あまりスペースが広くなく、奥まった場所にあるので、用途に限られるが、有効な活用方法が見いだせれば来年度の条例改正を検討したい。
部会長	了解した。それでは審議に入りたい。特に適正レベルである「3」を超える評価のところを中心に、理由も合わせて確認していきたい。 まず「利用者満足度」「事業成果」、いずれも「4」となっている点について御意見、質問をお願いしたい。
岩崎委員	「事業成果」について、劇団わが町の公演を評価しているが、劇団わが町は毎年公演をしていると思うので、たまたま今回扱った題材が良くて評価が「4」になるというのでは、物足りない気がする。例えば集まった人数やアンケートの評価など、数値的な要素や、積極的な文言が必要と思うがどうか。
部会長	劇団わが町公演は全5回のチケットが完売と記載がある。小さな規模だがインパクトがあり、また専門誌に取り上げられ、劇場のステータスが上がったという要素もある。入場者数もコロナ禍から着実に戻っている点に加え、アンケートの記載も追加すると説得力が増すのではないかと。事務局から補足をお願いしたい。
文化振興室	今回劇団わが町公演では登戸研究所を題材として取り上げたが、しんゆり映画祭でも同じ題材を取り扱った作品を上映し、小劇場と映像館を持つ施設としての特徴を生かした連携による相乗効果もあった。アンケートでも内容面を高く評価いただいたので、評価シートに付け加えたい。
部会長	続いて岩崎委員にお尋ねしたい。「収支計画・実績」のところで、「収入の確保」の評価が「2」となっている点について、補助金が予定どおり確保できなかったということはよくあり、来場者も増えている中で、全体として収入が減った、という場合、評価をどうするのがよいか、考えを教えてほしい。
岩崎委員	別冊2「事業者選定等に関する手引き」に「仕様書どおりに実施された場合や、目標値前後の実績を上げた標準「3」と記載がある。事務局の評価は、予算と比較して、その主たる要素である入場料収入が減少し、予算に満たなかったため「2」という主旨と理解するが、私の理解では厳しすぎると思う。 収入全体で見ると予算比マイナス5%であり、その中身を見ると映画「どん底4Kレストア版」の配給収入や、チケットセンターの開設による手数料収入など、プラスの取組もある。また、入場料収入に関し昨年比では増加している。

民間活用事業者選定評価委員会（アートセンター部会）会議録

	全体として「3」でもよいのではないかと考える。
部会長	「効率的・効果的な支出」についてはいかがか。
岩崎委員	チケットセンターを開設するとか、ホームページをリニューアルするとか、将来的に効果が上がる支出を計上しているということは評価できると思う。 一方で、再考いただきたいのが、「予算額より約7,966千円削減」とあるが、見込んでいた来場者数に及ばなかったため、映画の上映に関する経費が減ったとか、退職者が1名出たとか、組織として努力していないが経費が減った部分と、積極的に努力をして削減できた部分と、両方あると思うので、その双方の理由を総合して「減少」という記載がよいと思う。文言については再考いただき、評価としては「4」でよいと思う。
文化振興室	支出について御指摘のとおり、対予算で経費が減少している中には、来場者が減って対応費用が減っている部分を含んでいるため、努力をして削減している消耗品等の部分と分けた記載に修正したい。 収入については、主催事業等では前年より増加しているものの、貸館で前年度割れしている部分もあり迷ったが、御意見に従い評価「3」としたい。
部会長	岩崎委員からの御意見のとおり、「効率的・効果的な支出」については文言を修正していただきたい。 「収入の確保」については、助成金の申請もしており、来場者数も増加している。先ほど説明のあった貸館については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した直後のため、まだ影響を受けている利用団体も多かったと思われる。評価は「3」としつつ、収入確保のための経営努力の一層の強化を指導事項等に記載する方向がよいと思う。
本杉委員	私も「3」でよいと思う。補助金を申請し、獲得もしているわけだからその努力は評価すべき。むしろ気になるのは、退職者がいて、給与が予算を下回っている点について、職場環境を注意して見る必要はないか。また、入場料収入が減った点は、具体的な理由をヒアリングして評価する必要がある、単に数字だけを比べると、指定管理者の努力を正確に評価できない可能性があり、留意すべきと考える。
部会長	退職者についてと、収入の減少について、事務局の補足説明をお願いしたい、
文化振興室	職員が退職した経緯については把握できていない点もあるため、改めて指定管理者に状況を聞き職場環境について確認を行いたい。 収入については、コロナ禍以前の入場者数への回復を目指し予算を大きく見込んだ部分があった。御指摘のように、単に数字を比べるのではなく、取組内容も踏まえ、評価「3」とさせていただきたい。

民間活用事業者選定評価委員会（アートセンター部会）会議録

部会長	それでは「収入の確保」の評価は「3」とする。ただし、公金を使っている公共施設なので、「努力した」というだけでは正当化できない。そもそも指定管理者側が立てた予算でもあり、できる限りの取組が必要なため、指導事項に記載する。 「効率的・効果的な支出」は、全て能動的な削減という書きぶりではなく、費用が減った分と積極的な削減により、結果として「減少」したと記載するということでよいか。
委員一同	了承。
部会長	続いて「サービス向上及び業務改善」については、全て評価「4」となっているが、御意見・質問があればお願いしたい。
岩崎委員	「利用者の意見・要望への対応」について、「前年と同様の取組」のみの記載となっているが、評価「4」であれば、今年度の新規の取組があるべき。またアンケートの回収率が高いのか低いのか、判断ができないので、例えば昨年比の情報等が必要ではないか。
部会長	事務局から今の点について、手元の情報があれば説明いただきたい。
文化振興室	サービス向上については、「利用者満足度」のところに記載した小劇場主催公演のチケットレス化や、映像館チケットの事前予約制等のデジタル化に注力しており、再掲という形で良ければ今年度の新規の取組として記載したい。 アンケートの回収率については、小劇場の主催公演に関する劇場アドバイザー委員会で外部委員から評価を受けており、特に劇団わが町公演の74%は非常に高いと認識している。
部会長	現地回収で7割というのは高い回収率と言えると思う。これまでの回収率に比べて多い等の記載があると説得力が増すのではないか。
本杉委員	もう1点、「利用者の意見・要望への対応」のところで、「小中学生を対象としたワークショップ」のアンケートを展示した、という部分について、「前年と同様の取組」なのか新たな取組なのか分からず、解説をお願いしたい。
文化振興室	ワークショップに参加した子どもたちの感想を大きな木に見立てて来館者の目につくメインフロアに掲示したものであり、新規の取組として記載すべきであり修正したい。
本杉委員	子どもたちにとっては、自分の考えが掲示されるわけであり、施設としてはPRになる。機能がデザインと絡むのであれば面白いと思うが、そこまでではなくとも、新しい試みであればそのように記載してよいと思う。

民間活用事業者選定評価委員会（アートセンター部会）会議録

部会長	ウェブフォームのアンケートについて回収率が悪いが、令和5年度からの取組なのか。
文化振興室	令和4年度末頃から取組を始めた。
部会長	令和4年度から準備していたものを令和5年度本格稼働させたということであれば、実数も分かれば記載いただきたい。 また、劇団わが町のアンケートのところは回収率が高いということを分かりやすく強調していただき、またワークショップのアンケートの掲示についても新しい試みであることを明記し、利用者の幅広い意見収集を行い、館の改善に繋げる努力をしたという主旨が分かる記載にしていきたい。小さな一歩だが、このような取組を積み重ねるのも重要と思う。 貸館事業の減少については、コロナ禍が明けてもすぐには利用団体が動きにくい状況があったと思うが、所管ではどのように把握しているか
文化振興室	指定管理者によると、令和4年度は撮影やセミナーなど、平日のみ利用する団体があったが、令和5年度はそのような利用が減ったとのこと。今後これらの利用が増加するかは、利用団体側の事情のため見込みが立てづらい状況である。
部会長	承知した。「サービス向上及び業務改善」は事務局の説明・評価内容のとおりでよいか。
委員一同	了承。
部会長	続いて「組織管理体制」について、事務局案は全ての項目が「3」、適切に行われたという評価になっている。御意見・御質問がなければ事務局評価どおりでよいか。
委員一同	了承。
部会長	それでは、最後に「適正な業務実施」について、ここも事務局評価は「3」。 施設入口の階段の工事については、植物が枯れたということか。
文化振興室	入口の階段の最上部の側溝の植物が枯れ、くぼみで来場者が転倒する危険性があったため、そこを埋める工事を実施したもの。
部会長	市の予算で、指定管理者が契約等の手続を行ったということか。
文化振興室	当該部分は地域の管理組合が管理を行っており、工事はその組合で行ったが、その業務の履行を指定管理者が協力して実施したもの。

民間活用事業者選定評価委員会（アートセンター部会）会議録

部会長	何か質問や御意見はないか。
委員一同	（特になし）
部会長	それでは「4. 総合評価」を確認する。「収入の確保」評価を見直し、合計 70.4 で昨年同様「B」評価となる。総合評価についてこの内容でよいか。
委員一同	了承。
部会長	最後に、全体的な評価と、来年度に向けた指導事項等についてだが、「5. 事業執行に対する全体的な評価」の「第5（効率的運営）」に関し、収入増の取組については、予算に満たなかったが、効率的に取り組んだことを評価しつつ、「6. 来年度の事業執行に対する指導事項等」のところには、収入増の取組強化は記載した方がよいと思う。その他に御意見あればお願いしたい。
本杉委員	私も収入は補助金等に応募していることを評価した上で記載するのがよいと思う。また、修繕に関し、「開館から 17 年が経過し」「持続可能な施設維持に努めること」とあるが、指定管理者ができる範囲は限られるので、市がやるべきところはきちんと対応いただきたい。
部会長	指定管理者に対しては、修繕予算を活用し適宜必要な修繕を実施する等の記載とし、所有者である市としては、指定管理者の運営努力に応える形で、計画的で適切な修繕実施等の必要な措置をお願いしたい。
本杉委員	市民アンケートで、施設認知度が低いのは川崎市の中でどのくらいのレベルなのか。
文化振興室	ワーストではないが大変低い。ローカルな施設であり、新百合ヶ丘や麻生区での認知度は高いが、市全体としては低い数値となっている。
岩崎委員	収入に関し、他の映画館が値上げする中、料金を維持しているようだが、値上げの検討が行われている状況はあるか。
文化振興室	人件費・物価高騰等の理由で値上げの検討を行っている最中である。
岩崎委員	事業計画において、商業映画館では公開されない、芸術的価値の高い作品を上映している主旨の記載があるが、良い内容を提供していることの周知徹底を図り、来場者を増やすという努力も含め、収入確保の取組を考えていただく必要があると思うので、指定管理者にお伝えいただきたい。

民間活用事業者選定評価委員会（アートセンター部会）会議録

部会長	値上げに関し指導事項として具体的に書くのは、指定管理者の運営の戦略に支障が起きるといけないので、指定管理者への伝え方は事務局に任せるということでよいか。
委員一同	了承。
部会長	それではまとめたい。 「３．評価」において、「利用者満足度」の「事業成果」は、劇団わが町部分の書きぶりについて見直す。「収支計画・実績」の「効率的・効果的な支出」は書きぶりを修正し、「収入の確保」の評価段階は「３」とする。「サービス向上及び業務改善」の「利用者の意見・要望への対応」のところは、指定管理者の対応状況が伝わるように修正する。 「５．事業執行」において、収入に関する部分は、補助金助成金獲得の努力を評価しながらも、更に強化する書きぶりとする。 以上について書きぶりは事務局に一任する。 「６．来年度の事業執行に対する指導事項等」の施設設備については、市の方でも必要な対応を行うことをお願いする。 以上で予定されている議事は終了となるので、市民文化局民間活用事業者選定評価委員会アートセンター部会を閉会する。本日は審議に御協力いただきありがとうございました。事務局にお返しする。
事務局	< 閉会の挨拶 > (終了)

以上